

2022年8月16日

ご依頼者様各位

一般財団法人日本建築総合試験所
試験研究センター
建材部 工事用試験室

試験料金設定のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は当法人の業務につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当室で実施しておりますコンクリートおよびセメント系材料の脱型作業内容を検討し、この度、下記日程で「**軽量型枠の脱型**」について料金を設定させていただくことになりましたので、謹んでご案内申し上げます。

ご依頼者様には、ご負担をお掛けすることになりますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 施行期日：2022年10月3日 受付分より
- 設定料金：1体当たり **550円**、消費税等を含む（別添料金表参照）
- 問合せ先：（一財）日本建築総合試験所 試験研究センター
建材部 工事用試験室 TEL 06-6834-0561

以上

試験料金表

2022年10月1日現在 (消費税等(10%)を含む)

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部 工用試験室
〒565-0873 吹田市藤白台五丁目8番1号 TEL 06-6834-0561(直) FAX 06-6834-6657

試験研究センターへのアクセスは、当法人ホームページ (<https://www.gbrc.or.jp>) でご確認下さい。

JNLA 認定シンボル (JNLA ロゴマーク) 付き報告書を希望される場合は、別途お問い合わせ下さい。

試験結果報告書は、試験料金表 5. 各種試験以外は定型になっています。ただし、ご希望内容によっては、報告事項を変更することが出来ます。なお、その場合の試験料金は、見積によって算出致します。

1. コンクリート供試体およびコンクリートコア供試体の試験

1) 試験依頼書又は依頼情報シートの場合

試験項目		試験方法	単位	料金 (円)	備考	
圧縮強度※1	普通又は軽量コンクリート (呼び強度 ≤ 45)	$\phi 100 \times 200\text{mm}$	JIS A 1108 (公称直径による場合)	1体	990	W/C $\geq 36\%$
		$\phi 125 \times 250\text{mm}$ $\phi 150 \times 300\text{mm}$	//	//	1,210	
	高強度コンクリート ($45 <$ 呼び強度 ≤ 60)	$\phi 100 \times 200\text{mm}$	//	//	1,210	27% \leq W/C $< 36\%$
		$\phi 125 \times 250\text{mm}$	//	//	1,430	
	高強度以上のコンクリート ($60 <$ 呼び強度)	$\phi 100 \times 200\text{mm}$	//	//	1,430	W/C $< 27\%$
寸法測定	-	-	//	440	---	
曲げ強度		$100 \times 100 \times 400\text{mm}$	JIS A 1106	//	2,200	---
		$150 \times 150 \times 530\text{mm}$	//	//	3,300	---
引張 (割裂) 強度			JIS A 1113	//	1,430	---
コア供試体の圧縮強度			JIS A 1107	//	2,530	中性化を含む場合、 <u>材料試験室</u> にて承ります。
質量測定		$\phi 100 \times 200\text{mm}$	-	//	660	---
		$\phi 125 \times 250\text{mm}$ $\phi 150 \times 300\text{mm}$	-	//	880	---
見掛け密度			-	//	2,200	---
カット処理		$\phi 125\text{mm}$ 以下	-	1面	550	---
		$\phi 125\text{mm}$ 超	-	//	1,100	---
加圧面の仕上げ			-	//	550	研磨処理またはキャッピング処理
軽量型枠の脱型		$\phi 100 \sim 150\text{mm}$	-	1体	550	鋼製型枠不可

2) CTP (クラウドシステム) 又は DB (データベース) の場合

試験項目		試験方法	単位	料金 (円)	備考	
圧縮強度	普通又は軽量コンクリート (呼び強度 ≤ 45)	$\phi 100 \times 200\text{mm}$	JIS A 1108 (公称直径による場合)	1体	880	---
		$\phi 125 \times 250\text{mm}$ $\phi 150 \times 300\text{mm}$	//	//	1,100	---
	高強度コンクリート ($45 <$ 呼び強度 ≤ 60)	$\phi 100 \times 200\text{mm}$	//	//	1,100	---
		$\phi 125 \times 250\text{mm}$	//	//	1,320	
	高強度以上のコンクリート ($60 <$ 呼び強度)	$\phi 100 \times 200\text{mm}$	//	//	1,320	---
曲げ強度		$100 \times 100 \times 400\text{mm}$	JIS A 1106	//	2,090	---
		$150 \times 150 \times 530\text{mm}$	//	//	3,190	---
引張 (割裂) 強度			JIS A 1113	//	1,320	---
コア供試体の圧縮強度			JIS A 1107	//	2,420	中性化を含む場合、 <u>材料試験室</u> にて承ります。

試験料金表

2022年10月1日現在 (消費税等(10%)を含む)

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部 工所用試験室
〒565-0873 吹田市藤白台五丁目8番1号 TEL 06-6834-0561(直) FAX 06-6834-6657

2. セメント系供試体の試験(根固め液、くい周固定液、モルタル、モルタルコア)

1) 試験依頼書又は依頼情報シートの場合

試験項目		試験方法	単位	料金(円)	備考	
円柱供試体	圧縮強度	φ50×100mm以下 JIS A 1108 JSCE G 505、521	1体	990	---	
	コア圧縮強度					JIS A 1107
角柱供試体	圧縮強度	40×40×160mm JIS R 5201	"	1,980	---	
	曲げ強度			990	---	
質量測定		φ100×200mm以下	-	"	660	---
見掛け密度		φ100×200mm以下	-	"	2,200	---
カット処理		φ50mm以下	-	1面	440	---
加工面の仕上げ			-	"	440	研磨処理または キャッピング処理
軽量型枠の脱型		φ50~100mm	-	1体	550	鋼製型枠不可

2) 試験申込・速報クラウドシステム(CTP)

試験項目		試験方法	単位	料金(円)	備考
円柱供試体	圧縮強度	φ50×100mm以下 JIS A 1108	1体	880	---
角柱供試体	圧縮強度	40×40×160mm JIS R 5201	"	1,870	---
	曲げ強度			880	---

試験料金表

2022年10月1日現在 (消費税等(10%)を含む)

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部 工事用試験室
〒565-0873 吹田市藤白台五丁目8番1号 TEL 06-6834-0561(直) FAX 06-6834-6657

3. 鋼材試験

1) 引張試験 (試験方法 JIS Z 2241)

試験片形状	試験片種別	工法	試験片形状・寸法	種類の記号	単位	料金(円)	
棒鋼	継手	ガス圧接、 突合せ溶接	D29 以下	SD685B, SD685R, SD785R	1本	1,100	
			D32 以下	SD590A, SD590B, SD685A	//	1,100	
			D35 以下	SD490	//	1,100	
			D38 以下	SD295, SD345, SD390	//	1,100	
			D32, D35	SD685B, SD685R, SD785R	//	3,850	
			D35, D38	SD590A, SD590B, SD685A	//	3,850	
			D38, D41	SD490	//	3,850	
		D41	SD295, SD345, SD390	//	3,850		
		機械式継手	D35 以下	SD685B, SD685R, SD785R	//	3,850	
			D38 以下	SD590A, SD590B, SD685A	//	3,850	
			D41 以下	SD295, SD345, SD390, SD490	//	3,850	
		フレア溶接	D41 以下	SD295, SD345, SD390, SD490	//	3,850	
		上記以外の工法及び試験片形状・寸法			種類の記号に関わらず破断荷重が800kN以下	//	1,430
					種類の記号に関わらず破断荷重が800kNを超え1200kN以下	//	4,180
	素材	---	---	D29 以下	SD685B, SD685R, SD785R	//	1,540
				D32 以下	SD590A, SD590B, SD685A	//	1,540
				D35 以下	SD490	//	1,540
				D38 以下	SD295, SD345, SD390	//	1,540
				D32, D35	SD685B, SD685R, SD785R	//	4,290
				D35, D38	SD590A, SD590B, SD685A	//	4,290
D38, D41				SD490	//	4,290	
D41				SD295, SD345, SD390	//	4,290	
上記以外の試験片形状・寸法				種類の記号に関わらず破断荷重が800kN以下	//	2,310	
		種類の記号に関わらず破断荷重が800kNを超え1200kN以下	//	5,060			
鋼板	継手	---	試験片形状・寸法および種類の記号に関わらず破断荷重が800kN以下	//	1,650		
			試験片形状・寸法および種類の記号に関わらず破断荷重が800kNを超え1200kN以下	//	4,400		
	素材	---	試験片形状・寸法および種類の記号に関わらず破断荷重が800kN以下	//	2,310		
			試験片形状・寸法および種類の記号に関わらず破断荷重が800kNを超え1200kN以下	//	5,060		

試験料金表

2022年10月1日現在 (消費税等(10%)を含む)

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部 工事用試験室
〒565-0873 吹田市藤白台五丁目8番1号 TEL 06-6834-0561(直) FAX 06-6834-6657

2) 曲げ試験 (試験方法 JIS Z 2248, JIS Z 3122)

試験片形状	試験片種別	工法	試験片形状・寸法	種類の記号	単位	料金(円)
棒鋼	継手及び素材	---	D29 以下	SD390	1本	1,100
			D35 以下	SD295, SD345, SD490, SD590A, SD590B, SD685A, SD685B	//	1,100
			D41 以下	SD685R, SD785R	//	1,100
			D32, D35, D38, D41	SD390	//	4,950
			D38, D41	SD295, SD345, SD490, SD590A, SD590B, SD685A, SD685B	//	4,950
			上記以外の試験片寸法及び種類の記号で曲げスパンが250mm 以下の場合		//	1,100
			上記以外の試験片寸法及び種類の記号で曲げスパンが250mm を超える場合		//	4,950
鋼板	継手及び素材	---	試験片寸法及び種類の記号に関わらず、曲げスパンが250mm 以下の場合		//	1,430
			試験片寸法及び種類の記号に関わらず、曲げスパンが250mm を超える場合		//	5,280

注) 定型外の報告書をご希望の場合は、別途見積によります。

試験料金表

2022年10月1日現在 (消費税等(10%)を含む)

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部 工用試験室
〒565-0873 吹田市藤白台五丁目8番1号 TEL 06-6834-0561(直) FAX 06-6834-6657

4. 骨材試験

1) 細骨材

試験項目 ^{※1}	試験方法	単位	料金(円)	必要試料の量
粒度(ふるい分け) ^{※2}	JIS A 1102	1件	9,900	約5kg
	JIS A 5005	//	17,600	約5kg
微粒分量	JIS A 1103	//	7,700	約5kg
単位容積質量	JIS A 1104	//	7,700	約10kg
実積率 ^{※3}	//	//	17,600	約20kg
有機不純物	JIS A 1105	//	7,700	約5kg
絶乾密度・吸水率	JIS A 1109	//	9,900	約10kg
安定性	JIS A 1122	//	26,400	約20kg
粘土塊量 ^{※4}	JIS A 1137	//	14,300	約10kg
軽い粒子の質量分率(密度1.95に浮く粒子)	JIS A 1141	//	15,400	約5kg
粒形判定実積率	JIS A 5005	//	34,100	約50kg
塩化物量(塩分量)	JIS A 5308 JIS A 1144[電位差法]	//	22,000	約10kg
	JIS A 5002 (JASS 5T 202)	//	11,000	

2) 粗骨材

試験項目 ^{※1}	試験方法	単位	料金(円)	必要試料の量
粒度(ふるい分け) ^{※2}	JIS A 1102	1件	9,900	約20kg
	JIS A 5005	//	17,600	約20kg
微粒分量	JIS A 1103	//	7,700	約10kg
単位容積質量	JIS A 1104	//	7,700	約50kg
実積率 ^{※4}	//	//	17,600	約60kg
絶乾密度・吸水率	JIS A 1110	//	9,900	約20kg
すりへり減量	JIS A 1121	//	18,700	約50kg
安定性	JIS A 1122	//	28,600	約50kg
軟石量	JIS A 1126	//	14,300	約50kg
粘土塊量 ^{※4}	JIS A 1137	//	14,300	約20kg
軽い粒子の質量分率(密度1.95に浮く粒子)	JIS A 1141	//	15,400	約5kg
粒形判定実積率	JIS A 5005	//	34,100	約50kg

※1: アルカリシリカ反応性試験は、材料試験室で試験を実施致しますので、材料試験室(TEL:06-6834-0271)へ直接お問い合わせ下さい。

※2: JIS A 5005「コンクリート用砕石及び砕砂」6.5 によってふるい分け試験を実施する場合は、微粒分量試験の結果を明記致します。

※3: 単位容積質量および絶乾密度・吸水率試験を含みます。

※4: JIS A 1137 附属書 A(規定)の試験を実施する場合は、試験のご依頼時にお申し出ください。

試験料金表

2022年10月1日現在 (消費税等(10%)を含む)

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部 工所用試験室
〒565-0873 吹田市藤白台五丁目8番1号 TEL 06-6834-0561(直) FAX 06-6834-6657

3) 大阪府建築行政連絡協議会制定「コンクリート工事に関する取扱要領」および兵庫県制定「コンクリート工法に関する指導要綱」に基づく骨材試験

a) 当法人が採取した試料（巡回採取）で試験を実施する場合

試験項目 ^{※5}	単位	料金(円)	合計(円)
絶乾密度、吸水率、粒度(ふるい分け)	細骨材 配合	12,100	24,200
	粗骨材 配合	12,100	

b) 工事施工者又は工事施工管理実務者が採取した試料で試験を実施する場合

	試験項目 ^{※5}		小計(円)	合計(円)
	絶乾密度・吸水率(円)	粒度(ふるい分け)(円)		
細骨材 配合	9,900	9,900	19,800	39,600
粗骨材 配合	9,900	9,900	19,800	

試験料金表

2022年10月1日現在 (消費税等(10%)を含む)

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 建材部 工所用試験室
〒565-0873 吹田市藤白台五丁目8番1号 TEL 06-6834-0561(直) FAX 06-6834-6657

5. 各種試験

試験項目	試験方法※1	単位	料金(円)	備考
ボス供試体の圧縮強度	JIS A 1163	1本	3,300	---
吹付用コンクリート又は 吹付用モルタル(ネットモールド)	NEXCO 試験方法 315 JIS A 1108	1本	3,630	キャッピング処理費用含む
単位質量測定	JIS G 3112	1本	1,100	D10~D41
形状寸法測定		1本	3,300	D10~D41
降伏棚のひずみ度		1本	17,600	D10~D35 (SD685B) D10~D38(SD590A, SD590B, SD685A)
曲げ戻し試験	NEXCO	1本	2,200	D13~D25
		1本	5,390	D29
溶接部のマクロ試験※2	JIS G 0553	1本1面	3,300	---
		追加1面	1,650	
静弾性係数試験	—	1体	16,500	ひずみゲージ法で実施致します。

※1: 報告書作成費および打合せが必要です。

※2: 報告書作成費およびエッチング加工費(見積による)が加算されます。

6. 試験報告書の追加発行または修正再発行

項目	単位	料金(円)	備考	
定型報告書およびDB報告書の追加発行	1枚	330	---	
定型報告書の修正再発行	1件	660	2枚ご返却下さい。	
定型外	試験料金100万円越え	1部	11,000	---
	試験料金10万円越え100万円以下	1部	5,500	---
	試験料金10万円以下	1部	1,100	---

7. 写真

項目	方法	単位	料金(円)	備考
試験状況	E-Mail	1件 (2枚撮影)	330	追加の場合は、1枚165円加算 されます。
	CD		440	